

## 私のギリシア語事始

山形 直子

私がギリシア語を学びはじめたのは、中学二年の春休みにC・M・パウラの『古代ギリシア』という本を読んですっかりギリシアのとりこになったのがきっかけでした。まもなくギリシアを理解するにはギリシア語を学ばなければならぬと思い立ち、学校のおむかひの本屋さんで古川晴風先生の『ギリシア語四週間』を見つけたのを幸い、とちとちと独学ではじめたのでした。そうやって偶然見つけた教科書でしたが、あとで大学にはいってから使った入門書に比べてずっと使いやすく、中学生でも何とか半ばまでこなすことができたのはそのおかげだったと思います。

今ではもっとすぐれた入門書が出ているかもしれませんが、

- 活字が大きく読みやすい。
- 本文が平明で英語の知識がなくてもOK。
- 各課が一日を単位に分けられていて（学習者が「一日分」を一日でこなせるかどうかは別としても）「一日分」を終えたときの心理的充実感が大きい。
- 名詞、形容詞の曲用が、主格、呼格、対格、属格、与格の順に並んでいるので、女性形、中性形が覚えやすい。

という長所があったと思います。

私にとっては高校の図書館で見つけた田中秀央・落合太郎編『ギリシア・ラテン引用語辞典』と並んで、思い出深い、そしておすすめしたい一冊です。